



インリーチとは !?…

演奏者などが学校や地域の施設へ出かけて、皆さんに文化や芸術を届ける活動をアウトリーチ活動と言います。インリーチ活動はその反対で、皆さんに公共のホール等まで足を運んでもらい、本物の舞台芸術に触れていただく機会を提供する活動のことです。

阿波人形浄瑠璃「みらい塾」公演

令和7年度インリーチ事業(第3回公演)

プ ロ グ ラ ム



令和8年 1 月 30 日 (金)

10:00 開場 10:15 開演予定

シビックセンター4階さくらホール

主催：徳島市 / (公財) 徳島市文化振興公社

プログラム

①「二人三番叟（ににんさんばそう）」

寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）は、柿落とし（こけらおとし）や祝賀公演に際して演じられ、舞台を清めるとともに天下太平（てんかたいへい）と五穀豊穡（ごごくほうじょう）を祈る祝儀曲です。

能楽で特別の格式を持つ曲「翁（おきな）」を人形浄瑠璃に移したもので、今回は二人の三番叟（さんばそう）による「鈴の段」の躍動的な演奏に合わせて大地を踏みしめ土の中に潜む悪霊を追い払います。続いて種をまいて五穀豊穡（ごごくほうじょう）を願い、鶴亀の舞を踊って不老長寿（ふろうちょうじゅ）を祈ります。

一人が休もうとするともう一方が呼びに行き、へトへトになるまで踊り通す滑稽（こっけい）な場面も見所です。



② 人形の仕組みと解説

③「傾城阿波の鳴門（けいせいあわのなると）順礼歌の段」

「傾城阿波の鳴門」は近松半二ら5人の合作で、徳島藩のお家騒動を描いた時代物の浄瑠璃です。親子の情愛をリアルに描き阿波の人物が登場することから徳島で最も多く演じられる外題（げだい）です。

徳島藩のお家騒動に絡んで主君の刀を詮議（せんぎ）するために、阿波の十郎兵衛・お弓の夫婦は名を変え盗賊に身をやつし大阪玉造に住んでいます。仲間から役人の追っ手が向かっているのですぐに逃げるように、との手紙を受けたところへ巡礼姿の娘お鶴がはるばる徳島からやってきます。お弓はすぐに我が子とわかりますが、ここで親子の名乗りをしたのではお鶴まで巻き込んでしまうと考えます。この金（かね）を持って早く徳島へ帰って父母の帰りを待つように、と言いつつ涙をのんで別れるお弓。しかし、お鶴の歌う巡礼歌にたまたま後を追ってしまいます。



阿波人形浄瑠璃「みらい塾」プロフィール



阿波人形浄瑠璃「みらい塾」について

徳島の伝統芸能である阿波人形浄瑠璃を観た事がある人がどれくらいいるだろうか。せめて徳島に住む子供達には知ってほしい。50年後 100年後の未来に繋げたい。そんな思いから2020年1月に「みらい塾」を立ち上げました。

只今、人形浄瑠璃に興味がある大人を含め（3才から大学生まで17名）40名程の賛同を得て活動しています。発足当時は、コロナ禍で活動が制限されましたが現在は少しずつ活動の場が広がり、令和7年度は伝承教室や小・中学校（5校）人形浄瑠璃を知ってもらう機会を得ました。

〈主な演目〉二人三番叟、傾城阿波の鳴門 順礼歌の段、艶姿女舞衣 酒屋の段（さわり）、阿波おどり、ラジオ体操、童謡に合わせて「大きな栗の木の下で」「トントントントンこぶ爺さん」「幸せなら手をたたこう」「ふるさと」等

● 本日の公演メンバー ●

阿波十郎兵衛屋敷 館長 佐藤 憲治

阿波人形浄瑠璃「みらい塾」 代表 森本 恵子(OKEI)

花菱 恭子 木村 真理 笠井 祐子

福永 稔 福永 良美 福井 武

新田 光香 吉田 夢翔